終章-②　秘中の秘

〈秘中の秘〉(P285~✔)

ー健全な受容性

あなたは友達の家にいっている。そこでは友達の若い娘さんが彼女の初めてのピアノリサイタルの練習をやっている。上手に弾いている。だがまだ練習生だからーつかニつ間違った鍵(キー)を叩く。またタイミングも不完

それは彼女の正直な努力に対してなのだ。彼女は自分でできるだけのことをしたのだ。上手にピアノを弾とうとして自分のベストを尽くした、この誠実な若いレディを見たとき、あなたには純粋な優しさの気持があなたの内

自己向上をめざした正直な努力を見ることほど心からの喜びがこみあげる爽快さを私は他に知らない。

だから、受容的であるとは、スーパーマインドに向かって熱心に勤めるとはどういうことかを知らなくとも、あなたはすこしも心配しなくてよい。自分が何をしているのかまるで見当がつかなくとも、ただ気持をらくにして

あなたが知らないという事実を素直に肯定せよ、そしてそのままに委(まか)せよ。これが健康な受容性という行為なのだ。この種の降服は勝利なのだ。

あなたは、「おれはこのことについて何をすべきだろうか? 」としょっちゅう自問する。この昏迷(こんめい)が翌月もまた次の月も、そして更に年毎に繰り返される理由は、同じ問いを発してはまたも間違った解決をする

そこでだ。先ほどのあなたの「おれはこのことについて何をすべきか? 」との問いに対し、それまでとは違うまったく新しい答え方がある。それがスーパーマインドの答え方なのだ。

あなたのいつもの生活をそのまま構わず続けるのだ、ただし、現在のところ、おれは何をしていいか分らないとはっきり自覚した上でだ。お分りだろうか! 大切なのは、あなたが何をするかというその行為ではないのだ、あ

ここでわれわれは、みずからの内部に見られるプライドだとか格好や見栄とかをわきへ斥(しりぞ)けるまたとない機会をもつことになる。なぜなら、そうしたものは新しい答を阻む障碍(しょうがい)だからだ。プライドを

秘訣のなかの秘訣は? これだー

あなたが知らないという事実に屈服せよ、それをそのままに残せ、それが健全な受容性の行為なのだから。

Revision #3
Created 8 November 2024 02:39:16 by ゆう
Updated 8 November 2024 02:48:26 by ゆう